



▲高木会長より賞状をいただく竹石さん

催し物

月瀉村駅伝チーム

地区大会出場権をかくとく

**古文書の会**  
とき 10月25日(土)  
午前9時30分から  
就業改善センター

「えほんのへや」

絵本の読み聞かせの部屋を次のとおり開催します。  
とき 10月18日(土) 25日(土)  
11月1日(土)  
午後1時30分  
村民図書館

**英会話教室**  
とき 11月6日(木) 11月20日(木)  
午後7時30分から  
月瀉中学校

◎初級

とき 10月24日(木) 11月13日(木)  
午後7時30分から  
月瀉中学校

◎中級  
とき 10月24日(木) 11月13日(木)  
午後7時30分から  
月瀉中学校

ところ 月瀉中学校



10月3日(金)、三燕グラウンドで開催された西蒲原郡・燕市中学校駅伝競走大会で月瀉中学校陸上部駅伝チームが3位になり、10月17日(金)佐渡で開催される地区大会へ出場します。

○チーム成績

1区 白倉潤一(3年)	9分52秒
2区 高木昌則(1年)	9分51秒
3区 登石善仁(2年)	9分53秒
4区 北 幸寛(2年)	10分14秒
5区 登石 暁(1年)	9分40秒 ※区間賞
6区 佐藤智亮(3年)	10分45秒
総合 1時間15分	3位

月瀉村体育協会旗決まる!

先に募集しておりました月瀉村体育協会のシンボルマークが、去る6月20日、体育館協会旗選定実行委員会において決定されました。

応募された作品は、13点でしたが、いずれも月瀉村体育協会の未来への躍進を象徴する力強い力作がそろいました。それだけに審査が難航しました。

審査をお願いした金子村長はじめ、青柳村議会議長、笠原教育長、植村公民館長、体育協会理事による慎重かつ厳選なる審査の結果、竹石三佐雄さんの作品が選ばれ採用されました。おめでとございます。

応募作品中、入選及び佳作は次の方々です。(敬称略)

- 入選 竹石三佐雄  
佳作 植村 脩  
星野 隆  
岩越 富夫

9月8日、出上上がった体育協会旗のお披露目を兼ね、入選、佳作の方々に賞状を贈りました。

**岩越 富男さん**  
力強く走る若人を、月瀉村章と組み合わせながら軽快にデザインした。

**植村 脩さん**  
月瀉体協が未来に向けて力強く羽ばたく姿をイメージしながらデザインした。

**星野 隆さん**  
勝利を目指し、若い男女ががちり握手している情景を表現した。

**竹石三佐雄さん**  
こぶしをぎゅっと握りしめ腕をぐいっと構え、勝利はわが月瀉をイメージした。

ツキガタ

「スポーツ交流会」

平成8年度から始まった「スポーツ交流会」は、今年度月形町のゲートボール連盟を迎えて開催されました。

月形町の選手団、総勢17人は9月13日夕刻に当村に到着後、歓迎会に招かれ親睦を深めていました。翌14日は、あいにくの雨のため小学校体育館に会場を移しゲートボール交流会が行われました。月形町には屋内ゲートボール場が設置してあるため人工芝コートに初挑戦ということでした。



▲雨天のため会場を小学校にうつしての交流

村長杯

野球大会結果

8月18日から10月3日まで開催された第22回村長杯野球大会の成績結果は次のとおりです。

- ◎優勝 若葉
- ◎準優勝 木滑タイガース
- ◎3位 獅子
- ◎ホームラン賞 堀 秀樹(木滑タイガース)

月瀉村民秋季

鮎釣大会結果

9月21日(日)に開催された秋季鮎釣大会の結果は次のとおりです。

優勝 中村 芳男	3, 540g
準優勝 児玉 春雄	3, 310g
三位 岩本 巧	3, 040g
大物賞 神林 戦時	28・5g
特別賞 滝沢 末三郎	27センチ

(以上敬称略)

11月16日(日)  
農環センター  
**芸能祭**  
出場予定の方は練習を始めてください。

10月25日(土)・26日(日)  
農環センター  
**総合文化祭**  
力作を御観賞下さい。

図書館だより

新刊図書紹介

**思想の原像** 吉本隆明／著  
世界的な大都市で一瞬のうちに起こった防ぎようのない地下鉄サリン事件や阪神大震災の体験が、この国を取り巻く状況を大きく変えた。根柢的な思想の「力」には定評のある著者が、転換する新しい思想像を読み解く。

**「次」はこうなる** 堺屋太一／著  
避け難く、かつ未曾有の大変化が日本と日本人に迫っている今、エリート意識が強く国家革命の意欲があっても、「次」を読み取る能力のない者は国を危うくする。本書はそんな現代社会の問題を鋭く探る。マスコミなどでも大きく報道されている、注目の1冊。

**野坂昭如／著**  
娘の結婚式当日、突然送りつけられた野坂家の位牌。送り主は継母。かつて「ぼく」が母として、女として複雑な思いを抱いていた人。もつれ、からまりあう家族関係を戦後の混沌とした風景の中に描く自伝的小説の決定版。

**鎮魂歌(レクイエム)** 馳星 周／著  
「このミステリーがすごい」(宝島社)等で読者が選んだ96年度ベスト1に選ばれ、吉川英治文学新人賞を受賞した前作「不夜城」の続編。再び新宿歌舞伎町を舞台に、中国系アンダーグラウンドの男たちが生き残り賭けて策謀のかぎりを尽くす。映画化も決定している。

**空飛ぶ木** ラフィク・シャミ／著  
ミヒヤエル・エンデとともに現代ドイツを代表する人気作家である著者の最新作。本書はシャミツツイ賞、ヘルマン・ヘッセ賞など多数の賞を受賞し、世界18ヶ国で翻訳されているベストセラー。14編の美しいメルヘンと寓話、そして幻想的な物語が綴られていて、どれも昔話のように身近で人々の心をとらえる。

**映写会のお知らせ**  
11月8日(土) 午後3時  
リチャード・ブルックス監督  
「雨の朝パリに死す」 1954年 アメリカ映画  
出演・エリザベス・テーラー／ベン・ジョンソン／ドナ・リード  
／ウォルター・ピジョン  
\*第一次大戦を背景にしたフィッツジェラルドの短編「パピロン再訪」の舞台を、第二次大戦後におきかえて映画化。新進作家と結婚したピッキの奔放な生き方と悲劇的な最期を描いたメロドラマ。官能ナリズの妖しさはたとえようもない。  
(これからも月1回のペースで映写会を行います。)